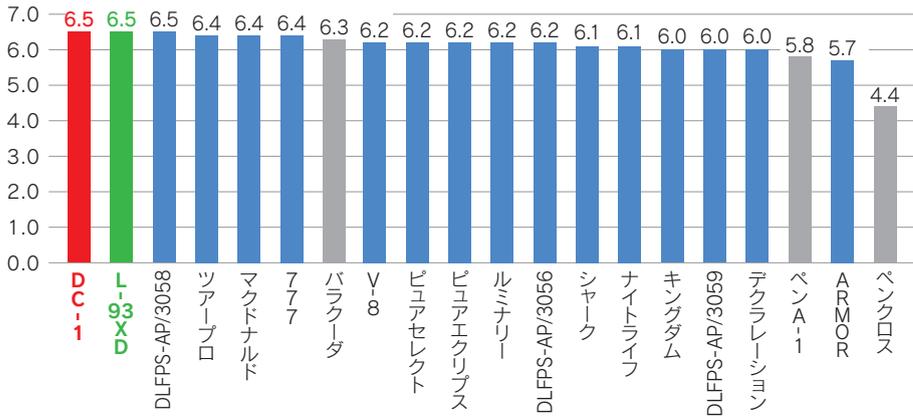


注目★

最新NTEP品種総合評価ランキング (2015年～2019年の総括)



NTEPにて  
**DC-1** および  
**L-93XD** が  
堂々**第1位**

※試験地15か所の芝生品質の平均値 (1-9.9=最大)  
標準品種：パラクーダ・ベンA-1・ベンクロス  
最少有意差：0.3

グリーンクオリティの頂点へ



クリーピングベントグラス種子  
**DC-1**  
CREEPING BENTGRASS

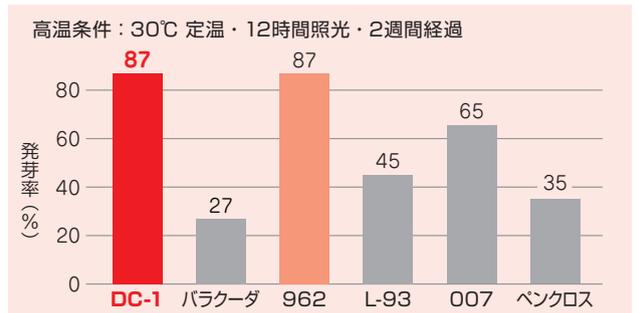
日本のゴルフコースに最適化した品種

ラトガース大学の試験で、「DC-1」の暑さに強い特性が客観的に示されました。またNTEPでは南部地域にある試験地を中心に高評価を得られ、これらの結果から米国で種子生産を担う会社が欧米での発売を決定し、2016年に日米共同開発「DC-1」の日米同時発売が実現しました。  
※米国では「Pirahna (ピラニア)」という商品名で流通

◆DC-1の特長

- ◇暑さに強い  
日本特有の高温多湿の気候に適応
- ◇高いターフクオリティ  
一年を通じて安定した芝生緑度とキメ細かさ
- ◇発芽と発芽初期の生育ポテンシャルが優れる  
インターシードに最適
- ◇優れた回復力  
温条件下のほふく性に優れる
- ◇病気に強い  
ダラスポット病、ブラウンパッチ、炭疽病、細菌病
- ◇アントシアン発生が少ない

◆DC-1発芽性能試験



高温条件では「DC-1」と「962」の発芽は遅延なく他の品種と比べ高い数値を示した。暑さに強い「DC-1」は夏越し直後のような温度が高い時期の播種に適応できる能力があります。

◆優良品種DC-1が出来るまで

ラトガース大学との交流・共同研究

- 1996 ラトガース大学遺伝資源収集プログラム開始  
アリゾナ州 (過酷な高温と干ばつに耐えた植物)、ニュージャージー州、ニューヨーク州などの古いゴルフコースから採取
- 1998 収集系統から耐病性系統を選抜
- 2000 ラトガース大学 交雑育種プログラム開始
- 2006 日本向け品種開発の話し合い開始
- 2009 夏季のクオリティとブラウンパッチ・ダラスポット病に強い優れた「DC-1」系統群8系統を選抜  
高密度 (Dense) ほふく性 (Creeping) に優れる「DC-1」系統を母材に、日本のコースに最適な品種の開発を提案
- 2010 日本で親系統候補の再選抜を開始
- 2013 「DC-1」を生産する親株7系統の選抜を完了
- 2014 「DC-1」生産開始 (アメリカ・オレゴン州)
- 2016 「DC-1」日米同時発売
- 2017 PVP (品種登録) 申請
- 2019 PVP認証

